

2025年3月13日

各位

株式会社北洋銀行

## TSUBASA アライアンスによる非化石証書の共同購入について ～地域で生まれた環境価値を地産地消～

北洋銀行(頭取 津山 博恒)は、2025年3月13日(木)に「TSUBASA アライアンス<sup>※1</sup>」で連携する全行と共に、各行の営業エリアで創出された FIT 非化石証書<sup>※2</sup>を合計 500 万 kWh 購入しました。購入した非化石証書は、各行の電力使用による CO2 排出のオフセット(相殺)に利用し、合計で約 2,100 トン(ATM 約 5,000 台分の年間 CO2 排出量)の CO2 削減に貢献します。

本件は、各行の営業エリアで創出された「環境価値」の地産地消のほか、再エネ価値取引市場の活性化および FIT 非化石証書の普及促進を目的に、「TSUBASA アライアンス」参加行の連携施策として実施しています。

当行および「TSUBASA アライアンス」参加行は、地域の脱炭素化(カーボンニュートラル)をはじめとした環境・社会問題の解決に取り組み、持続可能な地域社会の実現に貢献していきます。

※1 千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行および当行の 10 行が参加する地銀広域連携の枠組み。(URL: <https://tsubasa-al.co.jp>)

※2 FIT 制度(再生可能エネルギーの固定価格買取制度)が適用される非化石電源(太陽光・風力・バイオマスといった再生可能エネルギー等の発電時に CO2 を発生しない電源)で発電された電力の「環境価値」部分を証書化したもので、電力使用による CO2 排出量の削減に利用できる。

記



以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGs に関連するプレスリリースには、該当する SDGs のアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。